

製品名: Dyrk4 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10240**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	60kDa

抗原情報

遺伝子名	DYRK4
別名	DYRK4; Dual specificity tyrosine-phosphorylation-regulated kinase 4
遺伝子 ID	8798.0
SwissProt ID	Q9NR20
免疫原	Dyrk4 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 350-430

背景

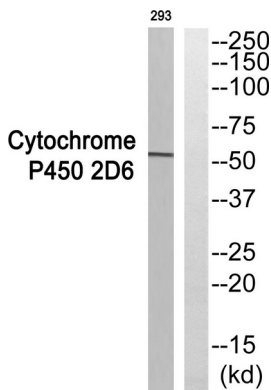
この遺伝子は、保存されたセリン/スレオニンプロテインキナーゼファミリーに属する酵素をコードしています。この二重特異性キナーゼファミリーのメンバーは、細胞分化と増殖、生存、そして発生の制御に機能すると考えられています。選択的スプライシング

により、複数の転写バリエーションが生じます。この遺伝子には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが他にも報告されていますが、その全長は不明です。[RefSeq 提供、2013 年 8 月],触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。補因子: マグネシウム。機能: 精子形成における非必須の役割を果たす可能性がある。PTM: チロシン残基が自己リン酸化される。類似性: プロテインキナーゼスーパーファミリーに属する。CMGC Ser/Thr プロテインキナーゼファミリー。MNB/DYRK サブファミリー。類似性: 1つのプロテインキナーゼドメインを含む。

研究分野

-

画像データ



DYRK4 抗体のウェスタンブロット解析。右レーンは DYRK4 ペプチドでブロッキングされている。